

2016年10月26日

外務大臣

岸田文雄様

国際婦人年連絡会

世話人 實生 律子
紙谷 雅子
大倉 多美子



JAWW（日本女性監視機構）代表 織田 由紀子



国連NGO国内女性委員会 委員長 青木 怜子



第61回国連婦人の地位委員会（CSW）日本政府代表団の一員としてNGO女性代表の参加を求める要望書

私ども3団体は、共に女性の地位向上を目指して日々活動を続けており、日本の国連加盟以来女性のNGO代表が政府代表団の一員として参加している国連総会第3委員会同様、世界レベルで女性の問題を審議・決定する場である国連婦人の地位委員会（CSW）にも常に、NGOの女性代表が加わることは極めて重要と考え、2005年の第50回CSW以来、人選をして要望書を提出し、代表団に加わらせていただいております。国連は加盟国政府と市民社会との協調を重視しております。女性の問題を国連で最初に審議・決定するCSWへの政府代表団の一員に、その場にふさわしいNGO関係者が参加し、その意見を反映することはその方針に合致いたします。これらのことを踏まえ、私たちはこれまで、豊かな経験としっかりした見識のある女性を代表として推薦し、外務省にご承認いただいて参りました。

私たち女性NGO3団体は、ここ数年、外務省のご支援により、CSWにおいて国連代表部に共催をお願いしてサイドイベントを開催しており、CSWに参加した人々から好評を得ております。さらに、帰国後も、CSWとサイドイベントについての報告会を開催しておりますので、国連活動を一層広く周知するのに貢献していると自負しております。

以上のことから、2017年3月13日から3月24日までニューヨークで行われる第61回CSW日本政府代表団に、NGOの女性代表の参加を強く要望いたします。なお、具体的な人選につきましては改めてお願いいたします所存でございます。

以上